

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす1

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	あたふた
意味	

短文	
----	--

B	「あたふた」に対して、「お〇〇た」はただうろたえているだけで何もできない様子。
---	---

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす1

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	あたふた
意味	平静さを失い、やたらにあわてて行動する様子。

短文	
----	--

B	「あたふた」はうろたえてはいるがすぐさま行動に突っ走っていく様子であるが、「お〇〇た」はただうろたえているだけで何もできない様子。
---	---

解答	おたおた
----	------

問題Bの答えのことばを使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす2

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	うきうき
意味	

短文	
----	--

B	「うきうき」に比べて、「う〇う〇」は必要なことをしないままに時間がたつことに焦点が置かれている。
---	--

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす2

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	うきうき
意味	うれしさや楽しいことへの期待で気分が活発になり落ち着いてられない様子。

短文	
----	--

B	「うきうき」に比べて、「う〇う〇」は必要なことをしないままに時間がたつことに焦点が置かれている。
---	--

解答	うかうか
----	------

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす3

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

<課題>

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
 複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
 意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
 「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
 (〇にはひらがな一字が入ります)

A	うねうね
意味	

短文	
----	--

B	「うねうね」に対し、「〇ね〇ね」はカーブそのものに視点がある。
---	---------------------------------

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす3

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	うねうね
意味	山などが、連続して高くなったり低くなったりしている様子。また、左右に方向をゆるやかに変えながら長く続く様子。
短文	
B	「うねうね」はカーブが続く様子を言うが、「〇ね〇ね」はカーブそのものに視点がある。

解答

くねくね

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす4

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

<課題>

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
 複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
 意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
 「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
 (〇にはひらがな一字が入ります)

A	うずうず
意味	

短文	
----	--

B	「うずうず」に対し、「〇ず〇ず」はやりたくてもできない歯がゆさを感じているところに焦点がある。
---	---

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす4

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	うずうず
意味	①傷やはれものなどが鈍くいたむ様子。 ②やりいことがあって、その気持ちを抑えきれない様子。 ③小さな声で不平を言う様子。(現代ではあまり使わない。)
短文	
B	「うずうず」がやりたい気持そのものに焦点があるのに対し、「〇ず〇ず」はやりたくてもできない歯がゆさを感じているところに焦点がある。

解答

むずむず

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす5

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	おずおず
意味	

短文	
----	--

B	「おずおず」に対し、「お〇お〇」はおびえて落ち着きのない状態そのものを表す。
---	--

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす5

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	おずおず
意味	おびえたように、自信なげにためらいつつ物事を行う様子。
短文	
B	「おずおず」は、ためらいながらも行動にうつす様子を表し、落ち着きがない状態は表さないのに対し、「お〇お〇」はおびえて落ち着きのない状態そのものを表す。

解答

おどおど

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす6

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	がぶがぶ
意味	

短文	
----	--

B	「ぐ〇ぐ〇」は「がぶがぶ」と同じ様子を表すが、一飲み一飲みのをならず感じがあり、もっぱら酒を飲む場合に用いる。
---	---

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす6

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A

がぶがぶ

意味

大量の液体を音を立てて勢いよく飲む音。また、その様子。

短文

B

「ぐ〇ぐ〇」は「がぶがぶ」と同じく大量の液体を飲む様子を表すが、一飲み一飲みのをならず感じがあり、もっぱら酒を飲む場合に用いる。

解答

ぐびぐび

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす7

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

<課題>

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
 複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
 意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
 「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
 (〇にはひらがな一字が入ります)

A	がやがや
意味	

短文	
----	--

B	「がやがや」に対して、「ざ〇ざ〇」は落ち着かない感じがともない、ある対象を見聞きした意外さが人々の話題になる場合がある。
---	--

解答	
----	--

〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす7

年 組 氏名

解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	がやがや
意味	大勢の人が口々に話す声。

短文	
----	--

B	騒がしい感じやにぎやかな感じがともない、各人各様の話題で話している「がやがや」に対して、「ざ〇ざ〇」は落ち着かない感じがともない、ある対象を見聞きした意外さが人々の話題になる場合がある。
---	---

解答	ざわざわ
----	------

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす8

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## ＜課題＞

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	きびきび
意味	

短文	
----	--

B	「きびきび」は主に動作を表すのに用いるが、「〇き〇き」は、言動が明快で小気味よい様子。
---	---

解答	
----	--

〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす8

年 組 氏名

解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	きびきび
意味	動作や態度などに、むだがなく引き締まっていて、生き生きしている様子。好感を持って用いられることが多い。

短文	
----	--

B	「きびきび」は主に動作に言うが、「〇き〇き」は、言動が明快で小気味よい様子。
---	--

解答	はきはき
----	------

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす9

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	ぐずぐず
意味	

短文	
----	--

B	「ぐずぐず」に対して、「の〇の〇」は物事の進行の遅さを表す。
---	--------------------------------

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす9

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	ぐずぐず
意味	①行動の取りかかりや進行が遅く、鈍い様子。 ②あれこれと不平・文句を言い続ける様子。 ③鼻を鳴らす音。 ④柔らかくなったりゆるんだりしてもとの形・状態が崩れる様子。

短文	
----	--

B	「ぐずぐず」が取りかかりの遅い様子やいつまでもやめないで不要なことを続ける様子などを表すのに対して、「の○の○」は物事の進行の遅さを表す。
---	---

解答	のろのろ
----	------

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす10

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	くだくだ
意味	

短文	
----	--

B	「くだくだ」に対して、「く〇く〇」はあれこれとしつこくきかれるときにも使われる。
---	--

解答	
----	--

## [擬音語・擬態語シリーズ] 言葉を使いこなす10

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	くだくだ
意味	無用のことをわざわざ長々と説明する様子。

短文	
----	--

B	「くだくだ」が説明や言い訳をするときに用いられることが多いのに対して、「く〇く〇」はあれこれとしつこく聞かれるときにも用いられる。
---	---

解答	くどくど
----	------

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす11

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	ぐっすり
意味	

短文	
----	--

B	「ぐっすり」に対して、「す〇〇〇」は静かな寝息で気持ちよさそうに眠っている様子を表す。
---	---

解答	
----	--

[擬音語・擬態語シリーズ] 言葉を使いこなす11

年 組 氏名

解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	ぐっすり
意味	眠りが非常に深い様子。

短文	
----	--

B	「ぐっすり」が深く眠り込んだ様子を表すのに対して、「す〇〇〇」は静かな寝息で気持ちよさそうに眠っている様子を表す。
---	---

解答	すやすや
----	------

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす12

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	さばさば
意味	

短文	
----	--

B	「〇〇〇〇」は味がくどくない様子など、「さばさば」よりも意味が広い。
---	------------------------------------

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす12

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	さばさば
意味	①後腐れがなく、思い切りの良い様子。 ②こだわりのない性格である様子。 ③すっきりとして爽快な気分である様子。
短文	
B	「〇〇り」は味がくどくない様子など、「さばさば」よりも意味が広い。

解答

さっぱり

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす13

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	じたばた
意味	

短文	
----	--

B	「じたばた」に対して、「ば〇ば〇」は落ち着きがなく物事をあわててする様子を表す。
---	--

解答	
----	--

## [擬音語・擬態語シリーズ] 言葉を使いこなす13

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	じたばた
意味	①手足を激しく動かす様子。 ②ある事態に直面してあわてふためいたり、窮地を逃れようと焦ってもがく様子。

短文	
----	--

B	「じたばた」が追い込まれて抵抗する様子を表すのに対して、「ば〇ば〇」は落ち着きがなく物事をあわててする様子を表す。
---	---

解答	ばたばた
----	------

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす14

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	しっかり
意味	

短文	
----	--

B	「しっかり」に対して、「がっ〇〇」は簡単に壊れそうにない強固な様子を表す。
---	---------------------------------------

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす14

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	しっかり
意味	①建物などの造りが確かで安定感のある様子。②考え方や見方などが堅実で信頼できる様子。③勉強や仕事などを真剣に行ったり、間違いなく確実にを行う様子。④心身が健全である様子。⑤量が十分である様子。

短文	
----	--

B	「しっかり」が建物などの造りが確かで安定感のある様子を表すのに対して、「がっ〇〇」は簡単に壊れそうにない強固な様子を表す。
---	---

解答	がっしり
----	------

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす15

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	しっくり
意味	

短文	
----	--

B	「しっくり」に対し、「〇〇〇り」ははずれがなく一致している様子を表す。
---	-------------------------------------

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす15

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	しっくり
意味	①組み合わせがよく、調和がとれて違和感がない様子。 ②お互いに気持ちが通じ合って、仲良く円満である様子。

短文	
----	--

B	「しっくり」が調和がとれているのに対し、「〇〇〇り」ははずれがなく一致している様子を表す。
---	---

解答	ぴったり
----	------

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす16

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	げんなり
意味	

短文	
----	--

B	「げんなり」に対し、「〇〇〇り」は飽きてもういやだと思つ様子を表す。
---	------------------------------------

解答	
----	--

## [擬音語・擬態語シリーズ] 言葉を使いこなす16

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A

げんなり

意味

物事をする気力を失っていやになる様子。

短文

B

「〇〇〇り」もいやになる様子を表す語であるが、「げんなり」のように疲労感を伴うことはなく、単に飽きてもういやだと思ふ様子を表す。

解答

うんざり

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす17

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	ごっごっ
意味	

短文	
----	--

B	「ごっごっ」と比べて「こ〇こ〇」はより軽い物があたってときの音。
---	----------------------------------

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす17

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	ごっごっ
意味	①重量のある固い物が何かに連続してぶつかる音。 ②でこぼこがあつてなめらかでない様子。 ③かたく、しなやかさがなくない様子。
短文	
B	「ごっごっ」と比べて「こ〇こ〇」はより軽い物があつたときの音。

解答

こつこつ

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす18

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

<課題>

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
 複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
 意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
 「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
 (〇にはひらがな一字が入ります)

A	しくしく
意味	

短文	
----	--

B	「しくしく」に対し、「め〇め〇」は弱々しく目を潤ませ泣く様子。
---	---------------------------------

解答	
----	--

## [擬音語・擬態語シリーズ] 言葉を使いこなす18

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	しくしく
意味	①静かな声で力なく、あわれな感じで鳴く様子。 ②胃など体の奥の方が鈍く刺すように絶えず痛む様子。

短文	
----	--

B	「しくしく」が静かにあわれな感じなのに対し、「め〇め〇」は弱々しく目を潤ませ泣く様子。
---	---

解答	めそめそ
----	------

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす19

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	しとすと
意味	

短文	
----	--

B	「しとすと」に対して、「ぱ〇ぱ〇」は小粒の雨がまばらに降る様子。
---	----------------------------------

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす19

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	しとすと
意味	①細かい雨が静かに降り続く様子。 ②ほどよく湿ったり、適度に濡れている様子。

短文	
----	--

B	「しとすと」が物静かに雨が降る様子を表すのに対して、「ぱ〇ぱ〇」は小粒の雨がまばらに降る様子。
---	---

解答	ぱらぱら
----	------

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす20

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	しみじみ
意味	

短文	
----	--

B	「し〇し〇」は「しみじみ」と違って情感をいだかず、物を細かく観察する様子。
---	---------------------------------------

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす20

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	しみじみ
意味	心の底まで情感がしみいる様子。あるいは、心の底から心情がわき起こる様子。やや暗い情緒に静かに浸る様子を表す。
短文	
B	「し〇し〇」は「しみじみ」と違って情感をいだかず、物を細かく観察する様子。

解答

しげしげ

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす21

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## ＜課題＞

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	ぞくぞく
意味	

短文	
----	--

B	「ぞくぞく」に対し、「〇く〇く」は不安におびえる恐怖心を表す。
---	---------------------------------

解答	
----	--

## [擬音語・擬態語シリーズ] 言葉を使いこなす21

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A

ぞくぞく

意味

- ①寒さや悪寒などで、体が震える様子。
- ②恐ろしさなどによる極度の緊張のため、鳥肌が立つような感じで震える様子。
- ③期待感やうれしさで、震えるように心が騒ぐ様子。

短文

B

「ぞくぞく」が背筋が凍てつく恐怖心なのに対し、「〇く〇く」は不安におびえる恐怖心を表す。

解答

びくびく

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす22

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	そそくさ
意味	

短文	
----	--

B	「そそくさ」に対し、「そ〇そ〇」はじっとしていられず落ち着かない様子を表す。
---	--

解答	
----	--

## [擬音語・擬態語シリーズ] 言葉を使いこなす22

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	そそくさ
意味	慌ただしく行動する様子。

短文	
----	--

B	「そそくさ」が追い立てられるようで落ち着かない様子を表すのに対し、「そ〇そ〇」はじっとしていられず落ち着かない様子を表す。
---	---

解答	そわそわ
----	------

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす23

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	だぶだぶ
意味	

短文	
----	--

B	「だぶだぶ」に対し、「ぶ〇〇〇」は体に対する衣服の大きさに重点を置く。
---	-------------------------------------

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす23

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	だぶだぶ
意味	①衣服などが体に対して大きすぎ、たるみができている様子。 ②大量を液体が容器の中で揺れ動く音。
短文	
B	「だぶだぶ」が衣服のたるみ具合に重点を置くのに対し、「ぶ〇〇〇」は体に対する衣服の大きさに重点を置く。

解答

ぶかぶか

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす24

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	つんけん
意味	

短文	
----	--

B	「つんけん」は周囲を刺すが、「〇ん〇ん」はとげは出ているが刺すには至らない感じ。
---	--

解答	
----	--

## [擬音語・擬態語シリーズ] 言葉を使いこなす24

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	つんけん
意味	周囲の人に、突っかかるようにけんか腰でものを言うなど、冷たくとげのある態度を取る様子。

短文	
----	--

B	「つんけん」は周囲を刺すが、「〇ん〇ん」はとげは出ているが刺すには至らない感じ。
---	--

解答	つんつん
----	------

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす25

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	とことこ
意味	

短文	
----	--

B	かわいらしく進む「とことこ」に対し、「〇た〇た」はただ急いで進む様子。
---	-------------------------------------

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす25

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	とことこ
意味	①人や動物が、狭い歩幅で、足早に歩いたり走ったりする様子。 ②乗り物が遅い速度で進む様子。
短文	
B	かわいらしく進む「とことこ」に対し、「〇た〇た」はただ急いで進む様子。

解答

すたすた

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす26

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	とぼとぼ
意味	

短文	
----	--

B	「とぼとぼ」に対して、「〇く〇く」はやや長い道のりを一定のペースで根気よく歩き続ける様子。
---	---

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす26

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	とぼとぼ
意味	①元気がない足取りで、うつむき加減で寂しそうに歩く様子。 ②疲れ果てたり、勢いがなく衰えた様子。

短文	
----	--

B	「とぼとぼ」が元気がない足取りで、うつむき加減で寂しそうに歩く様子に対して、「〇く〇く」はやや長い道のりを一定のペースで根気よく歩き続ける様子。
---	--

解答	てくてく
----	------

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす27

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

<課題>

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
 複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
 意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
 「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
 (〇にはひらがな一字が入ります)

A	にゆるにゆる
意味	

短文	
----	--

B	「にゆるにゆる」は感触に重点を置くが、「〇〇〇〇〇〇」はへびなどの細長いものがうねり進む様子を表し、動作に重点を置く。
---	---

解答	
----	--

## [擬音語・擬態語シリーズ] 言葉を使いこなす27

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	にゆるにゆる
意味	手でつかむと滑り出てしまうくらいに、表面にぬめりがある様子。ウナギなど細長いものについて言うことが多い。
短文	
B	「にゆるにゆる」は感触に重点を置くが、「〇〇〇〇〇〇」はへびなどの細長いものがうねり進む様子を表し、動作に重点を置く。

解答

によろによろ

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす28

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	のそのそ
意味	

短文	
----	--

B	「のそのそ」に対して、「の〇の〇」は時間的に遅いことが中心で鈍重さはあまり感じさせない。
---	--

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす28

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	のそのそ
意味	①ゆっくりと鈍重な足取りで歩く様子。 ②動作が鈍かったり、行動が緩慢だったりする様子。
短文	
B	「のそのそ」が足取りや行動に時間的に遅いこととともに鈍重さを感じさせるのに対して、「の○の○」は時間的に遅いことが中心で鈍重さはあまり感じさせない。

解答

のろのろ

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす29

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## ＜課題＞

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	ぱさぱさ
意味	

短文	
----	--

B	「ぱさぱさ」に対し、「ぱ〇ぱ〇」は乾いて乱れ汚い感じ。
---	-----------------------------

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす29

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	ぱさぱさ
意味	本来あるべき水分や油分などが失われて乾いている様子。

短文	
----	--

B	「ぱさぱさ」は乾燥した様子が主眼だが、「ぱ〇ぱ〇」は乾いて乱れ汚い感じ。
---	--------------------------------------

解答	ぱさぱさ
----	------

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす30

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	はらはら
意味	

短文	
----	--

B	「はらはら」に対して、「〇き〇き」は恐怖・不安・期待・驚きなどの心理状態を広く表す。
---	--

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす30

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	はらはら
意味	<p>①そばで見ている、失敗しないかどうか、困ったことにならないかどうか、心配でたまらない様子。</p> <p>②花びら・木の葉・雪など、小さくて薄いものが間断なく空から散ったり降ったりする様子。また、涙を流す様子。</p>
短文	
B	<p>「はらはら」がだれか他人の身に起こっていることを見守る立場で心配したり気をもんだりする心理状態を表すのに対して、「〇き〇き」は恐怖・不安・期待・驚きなどの心理状態を広く表す。</p>

解答

どきどき

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす31

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	ひそひそ
意味	

短文	
----	--

B	「ひそひそ」が話す様子に限られるのに対して、「こ〇こ〇」は広く動作一般に用いる。
---	--

解答	
----	--

## [擬音語・擬態語シリーズ] 言葉を使いこなす31

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	ひそひそ
意味	他の人に聞こえないように、かろうじて相手にだけ聞こえるくらいの小さな声で話す様子。

短文	
----	--

B	「ひそひそ」が話す様子に限られるのに対して、「こ〇こ〇」は広く動作一般に用いる。
---	--

解答	こそこそ
----	------

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす32

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	びっしり
意味	

短文	
----	--

B	「びっしり」に対し、「〇〇しり」は、使い方が、容器の中や期間内などのある一定の範囲の中でいっぱいである場合に限定される。
---	--

解答	
----	--

## [擬音語・擬態語シリーズ] 言葉を使いこなす32

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A

びっしり

意味

ものがすき間なく並んでいたり詰まっていたりする様子。

短文

B

「〇〇しり」もすき間なく詰まった様子を表す語であるが、使い方が、容器の中や期間内などのある一定の範囲の中でいっぱいである場合に限定される点で「びっしり」とは異なる。

解答

ぎっしり

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす33

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	ふかふか
意味	

短文	
----	--

B	「ふかふか」よりも「ふ〇ふ〇」の方が芯まで柔らかい感じがある。
---	---------------------------------

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす33

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	ふかふか
意味	①ふくらんで、やわらかく弾力のある様子。 ②炊いたばかりでやわらかい様子。

短文	
----	--

B	「ふかふか」よりも「ふ○ふ○」の方が芯まで柔らかい感じがある。
---	---------------------------------

解答	ふわふわ
----	------

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす34

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	べたべた
意味	

短文	
----	--

B	「べ〇べ〇」は「べたべた」に比べて、水気が多くつき方がやや弱い。
---	----------------------------------

解答	
----	--

## [擬音語・擬態語シリーズ] 言葉を使いこなす34

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	べたべた
意味	①ものに粘り気があり、くっつく様子。 ②愛情の対象に必要以上にまとわりつく様子。 ③地が見えなくなるほど、あちこちにいくつも物を貼り付けたり塗ったりする様子。
短文	
B	「べ〇べ〇」は「べたべた」に比べて、水気が多くくつき方がやや弱い。

解答

べとべと

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす35

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	へとへと
意味	

短文	
----	--

B	「く〇く〇」は肉体的な疲労でなくてもよい点で「へとへと」と異なる。
---	-----------------------------------

解答	
----	--

[擬音語・擬態語シリーズ] 言葉を使いこなす35

年 組 氏名

解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A

へとへと

意味

気力・体力とも消耗し、ひどく疲れた様子。

短文

B

「く〇く〇」は肉体的な疲労でなくてもよい点で「へとへと」と異なる。

解答

くたくた

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす36

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	へなへな
意味	

短文	
----	--

B	「へなへな」に対して、「へ〇へ〇」は力尽きて座り込むような感じで崩れる様子を表す。
---	---

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす36

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	へなへな
意味	①力を加えるとすぐに曲がったりしなったりして弱々しい様子。 ②頼りがいがなく弱々しい様子。 ③気力・体力を失って力なく崩れる様子。
短文	
B	芯がなくなって倒れ込むような感じの「へなへな」に対して、「へ〇へ〇」は力尽きて座り込むような感じで崩れる様子を表す。

解答

へたへた

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす37

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	ほやほや
意味	

短文	
----	--

B	「ほ〇ほ〇」は料理が温かく湯気が出ている様子。
---	-------------------------

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす37

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	ほやほや
意味	①物ができたばかり、あるいはある状態になったばかりの様子。 ②料理が出来上がったばかりで、温かく、湯気が立っている様子。
短文	
B	「ほ〇ほ〇」は料理が温かく湯気が出ている様子。できたてという意味はない。

解答

ほかほか

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす38

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	むしゃくしゃ
意味	

短文	
----	--

B	「むしゃくしゃ」に対して、「〇ら〇ら」は思い通りに行かず焦って落ち着かない様子。
---	--

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす38

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	むしゃくしゃ
意味	①腹立たしくて、気持ちが晴れない様子。 ②毛や葉などがひどい形になる様子。

短文	
----	--

B	「むしゃくしゃ」が腹が立って気持ちが晴れないのに対して、「〇ら〇ら」は思い通りに行かず焦って落ち着かない様子。
---	---

解答	いらいら
----	------

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす39

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	むずむず
意味	

短文	
----	--

B	「むずむず」に対して、「う〇う〇」は早くやりたくてじれったいが楽しみの気持ちを表す点で違っている。
---	---

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす39

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	むずむず
意味	①今すぐにやりたいことがあるのに、それができなくてもどかしく思う様子。 ②虫などがはい回るような刺激を肌に持続的に感じる様子。
短文	
B	「むずむず」がやりたいことをやれない不快な気持ちを表すのに対して、「う〇う〇」は早くやりたくてじれったいが楽しみの気持ちを表す点で違っている。

解答

うずうず

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす40

年 組 氏名

このシリーズでは、「擬音語・擬態語」の意味・用法を学習します。  
 擬音語は実際の音をまねて言葉とした語です。また擬態語は視覚、触覚など聴覚以外の感覚、印象を言葉とした語です。これらの言葉を会話や文の中に効果的に使うことで、表現がとても豊かになります。  
 擬音語や擬態語の中には、よく似てはいるけれど意味や使い方が異なる言葉がたくさんあります。このシリーズの学習を通じて使える言葉を増やし、豊かな表現ができるようになりましょう。

## &lt;課題&gt;

- 1 Aの擬態語・擬音語の意味を辞書で調べて「意味」のところに書き出しましょう。  
複数ある場合は、「①、②、……」としましょう。
- 2 「短文」のところに、Aのことばを使って短文を作りましょう。  
意味が複数ある場合は、それに応じて複数作りましょう。
- 3 Bの文章は、Aの語の中心的な意味・用法に対する類義語との違いを説明したものです。  
「〇〇〇〇」にあてはまる類義語を考えて解答欄に答えましょう。  
(〇にはひらがな一字が入ります)

A	ゆったり
意味	

短文	
----	--

B	「ゆったり」に対して、「ゆ〇〇〇」は動作自体に時間をかけて行うことに意味の中心がある。
---	---

解答	
----	--

## 〔擬音語・擬態語シリーズ〕 言葉を使いこなす40

年 組 氏名

## 解 答

☆短文は先生に見てもらいましょう

A	ゆったり
意味	①時間・空間・動作・態度などに、ゆとりのある様子。 ②気持ちが変わらずらわされることなく、くつろぐ様子。

短文	
----	--

B	「ゆったり」は状態や心に余裕やゆとりがあることに意味の中心があるに対して、「ゆ〇〇〇」は動作自体に時間をかけて行うことに意味の中心がある。
---	---

解答	ゆっくり
----	------

Bの言葉を使って、短文を作りましょう。